

平成11年1月29日
原子力安全対策課
(10-85)
<17時記者発表>

大飯発電所2号機の原子炉手動停止について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所2号機（加圧水型軽水炉；定格出力117.5万kW）は、平成10年8月29日から、第14回定期検査中で、平成11年1月25日に原子炉を起動し、28日17時30分に調整運転を開始した。

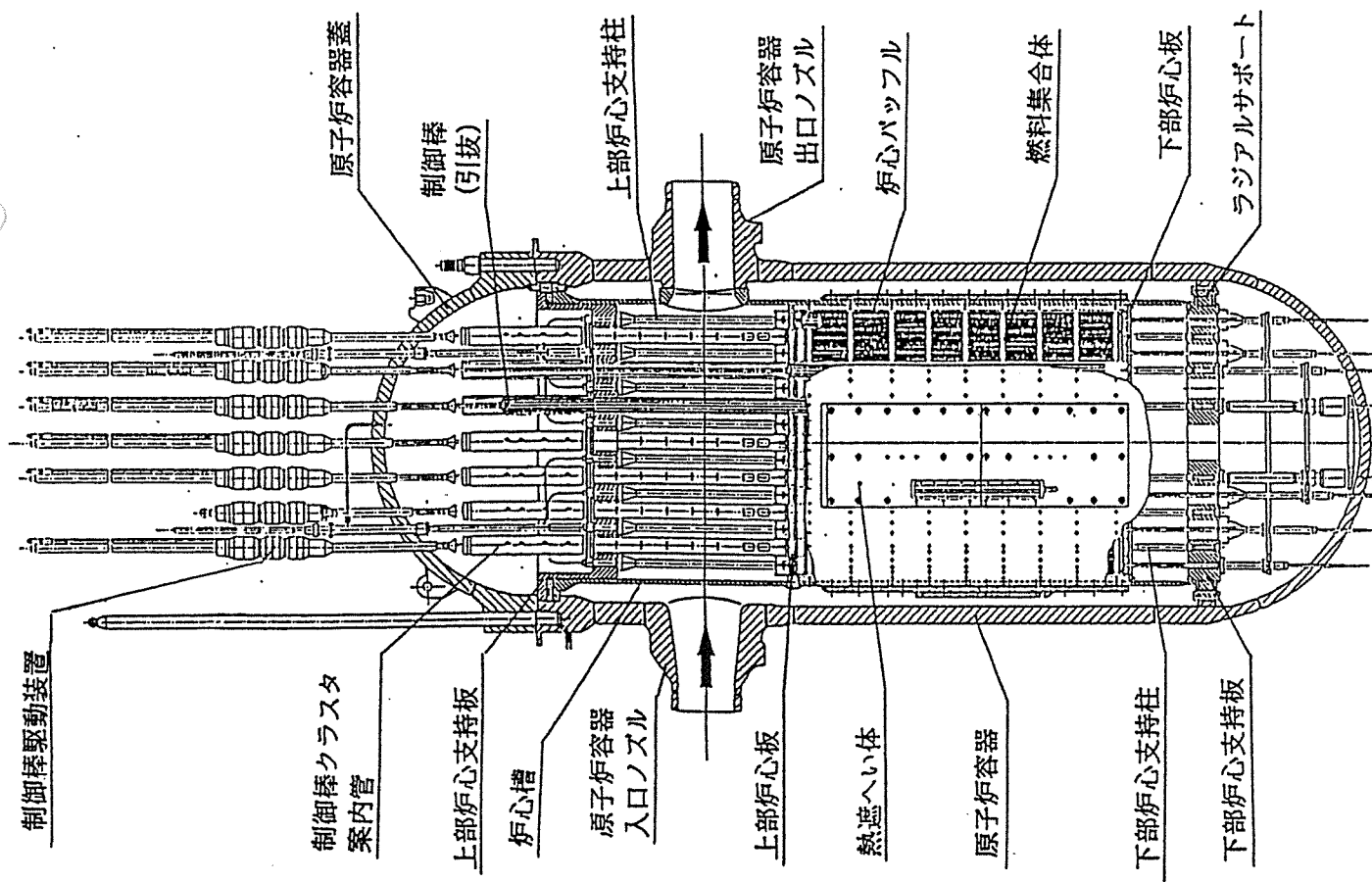
本日12時より30%出力から50%出力に向けた出力上昇操作を行っていたところ、14時22分に「制御棒1本炉底位置」「制御棒位置指示計重故障」警報等が発信し、制御棒53本のうち原子炉中央の1本が落下する事象が発生した。これに伴い電気出力が44.3万kWから43.5万kWに低下した。

原子炉の関連パラメータは安定に推移しているが、原因調査のため本日17時頃より出力降下を開始し、20時30分頃に発電を停止し、21時頃に原子炉を停止する予定である。

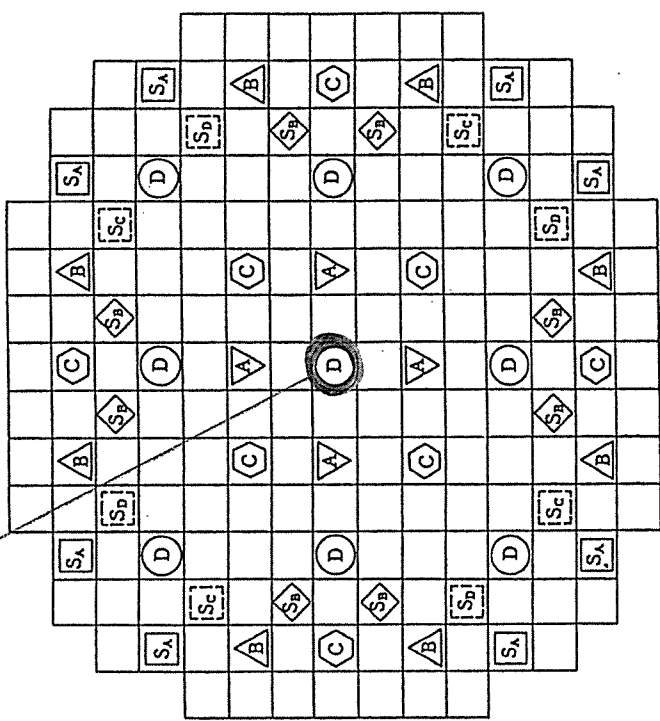
なお、本事象に伴う環境への影響はない。

（通商産業省によるINESの暫定評価尺度）

基準1	基準2	基準3	評価レベル
—	—	0+	0+



落下した制御棒



制御棒 クラスタ		記号	本数
制御バンク	停止グループ A	S _A	8
	B	S _B	8
	C	S _C	4
	D	S _D	4
制御グループ A	A	A	4
	B	B	8
	C	C	8
	D	D	9

制御棒配置説明図

原子炉および炉内構造物構造図

関西電力（株）大飯発電所2号機の手動停止について

平成11年1月29日

資源エネルギー庁

関西電力大飯発電所2号機（加圧水型、定格出力117万5千キロワット）は、平成10年8月29日から定期検査を実施中であるが、1月28日に調整運転のため発電を開始し、出力上昇中のところ、本日午後2時22分頃、引抜操作中の制御棒（1本）が落下し、炉心に再挿入された。

このため、点検・調査を行うこととし、本日午後5時00分から出力降下を開始し、午後9時頃に原子炉を停止する予定である。

なお、外部に対する放射能の影響はない。

（INESによる暫定評価）

基準 1	基準 2	基準 3	評価レベル
—	—	0+	0+

問合せ先：原子力発電運転管理室

内線3807 直通3501-1739